

はじめに

世界中の人々とメールやチャット、SNSなどのデジタルプラットフォームを通じてコミュニケーションを取ることが、ビジネスの現場では当たり前になっています。

私が国内のゲーム会社へ新卒入社した90年代前半は、やっと海外の取引先とメールでのコミュニケーションが始まったばかりの時代でした。しかし、まだ国内のほとんどの取引先とは電話とFaxでのやり取りが中心でした。

それから30年が過ぎ、コミュニケーションツールの進化はすさまじいものがあると実感しています。

ですから、話すことが中心の「英会話」だけでは、グローバルなビジネスの世界で真のプロフェッショナルとして認められるには実はまだ足りないのです。

書き言葉でも「かっこいい」英語表現を読み書き両方で使いこなせることが不可欠です。

ちなみに、本書における「かっこいい英語」とは、「場面や状況に応じた適切さと、最新のトレンドを取り入れた説得力のある英語表現」を意味しています。

英語の表現は多種多様です。状況に応じてフォーマルな表現とカジュアルな表現を使い分ける必要があるのはもちろんですが、チャットやSNSでは手短かに相手に伝えたいという意図が入るため、略語が好まれたり、デジタルプラットフォームをよく使うIT業界が比較的若いこともあり“若者言葉”や“スタートアップ(起業)的用語”が流行しているケースがたびたび見られます。

私も海外のIT業界にいる知人とチャットでやり取りしたときに“**Hit me up! I'll ping you!**” (連絡してね!後ほどメッセージするね!)と初めていわれたときは「知っている単語ばかりなのに、習ってないぞ、こんな表現」、と思ったことをよく覚えています。こういう「生きたかっこいい英語表現」を習える教材が日本ではほとんど見当た

らないことに気づきました。

そこで本書では、IT業界を中心としたグローバルビジネスの現場でよく使われている「カッコいい」英語表現を厳選して解説しているのが特徴です。

ビジネスメールでの第一印象を決める表現から、SNSやチャットでの効果的なコミュニケーション、プロジェクトの進捗報告、会議の調整まで、ビジネスの現場で必要な場면을幅広く取り上げています。

それぞれの場面で、英語を母語とする人たちが実際によく使う表現を、ネイティブスピーカーが「さわやか(クール)！」と感じる表現、「そんな表現、よく使えるなあ！」と感心する表現、「その表現新しいね！」と感じる表現の3段階で紹介。また、なぜその表現が「カッコいい」と感じられるのか、文化的な背景も含めて分かりやすく解説します。

さらに、ChatGPTなどの生成AIを英語で使いこなすためのプロンプト(指示文)の書き方まで、実践的なポイントを詳しく説明していきます。本書で学んだ表現を使ってAIと英語で対話することで、ビジネスに活用しつつ、同時に英語力も効率的に伸ばすことができます。“**Hit me with something better!**” (これよりもっとカッコイイ表現を見せて!)と尋ねれば、そのとおりに提案してくれることでしょう。

本書で学ぶ「カッコいい」英語表現を身につけることで、きっとあなたのビジネスの世界はより広がっていくはずです。さあ、新しい一歩を踏み出しましょう。

長澤大輔